

修士修了・博士進学基準および論文審査・発表審査の評価基準について

【学生用】

地球惑星科学専攻

1. 修士修了基準と博士進学基準

○修士修了基準

修士論文のテーマとした研究の意義、目的、手法、結果を正しく理解し、それを論理的にまとめ、わかりやすく発表する能力を有すること。

○博士進学基準

博士課程在学期間内に博士の学位を取得するために必要な学力と研究的発想・企画・遂行能力の基礎が備わっていること。

2. 論文審査および発表の評価

修士修了希望者、博士入・進学希望者について同一の判断基準、方式で行う。

研究課題や成果の優劣よりも、取り組んだ研究課題や方法について良く理解できているか、目的達成に向けて十分な努力をほらったか、将来の「発展性」が見込まれるかに重点を置いて評価を行う。

○論文審査

1)審査委員は、個別評価項目については5段階で、総合評価・修士修了については3段階で、総合評価・博士進学については合否で評価を行う。

A. 個別項目評価

- (a) 課題：研究テーマを選んだ動機とその意義付けが明確か
- (b) 手法：研究手法が妥当であり、その原理の理解が十分か
- (c) 結果：研究結果の質・量、及びその記載（文、式、図、表）は適切か
- (d) 議論：得られた結果の解釈が論理的で明確か
- (e) 引用：過去の関連する研究の評価や引用が適切か
- (f) 到達：得られた成果の科学的到達度は高いか
- (g) 発展：研究者としての発展性、独創性はあるか

B. 総合評価

- (h) 修士修了
- (i) 博士進学

○**発表審査** 1)発表時間 20 分、質疑応答 10 分で行う。(発表時間が超過した場合は 20 分で打ち切る。) 2)発表会出席教員（講師以上）全員により、個別評価項目については 5 段階で、総合評価・修士修了については 3 段階で、総合評価・博士進学については合否で評価を行う。

A. 個別項目評価

- (a) 課題：研究テーマを選んだ動機とその意義付けが明確か
- (b) 手法：研究手法が妥当であり、その原理の理解が十分か
- (c) 結果：研究結果の質・量、及びその記載（文、式、図、表）は適切か
- (d) 議論：得られた結果の解釈が論理的で明確か
- (e) 質疑応答：質問に対して的確に答えているか
- (f) 到達：得られた成果の科学的到達度は高いか
- (g) 発展：研究者としての発展性、独創性はあるか

B. 総合評価

- (h) 修士修了
- (i) 博士進学

3. 最終的な評価と合否判定

- 1)修士課程修了の可否および博士課程進学希望者に対する進学の合否判定は、論文審査と発表審査の総合評価および個別評価項目 a-e の結果を総合して行い、f-g は参考とする。
- 2)修士論文の成績評価は個別評価項目 a-e の結果を基に行う。